



## ウクライナ戦争1年 即刻戦争をやめろ！

ロシアがウクライナに軍事侵攻してからちょうど1年が経過しました。ウクライナ及びNATO加盟国とロシアの対立はますます激化し、停戦の兆しは全く見えません。アメリカや西側諸国からの軍事支援とロシアの軍事戦略により、戦争は長期化・激化しています。お互い国のメンツをかけて衝突するこの戦争により、罪のない市民・労働者が犠牲になっています。また、兵士として動員されているのは労働者です。国の指導者らは、戦場には赴きません。

岸田首相は昨年12月16日、「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」いわゆる安保関連3文書改定の閣議決定を強行しました。まさに民主主義を否定する暴挙です。歴代政権が戦後一貫して否定してきた敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有や、防衛関連の予算を2027年度に対GDP比2%へ倍増させることは、憲法に基づく専守防衛を逸脱し、更なる軍事大国化＝戦争をする国づくりであることは言うまでもありません。

「どこかの国が攻めてきたらどうするのか」「国民を守るため」と詭弁を使って軍拡をしたところで、相手国が脅威と見なせば軍拡競争はより激化し、ますます緊張感を高めるばかりであることは歴史が証明しています。平和とは逆行する愚かな行為です。

日本政府が取るべき行動は、軍事支援でもなければ日本の軍備増強でもありません。両国の停戦に向けた外交以外ないのです。

JR東海労は、直ちに戦争中止と岸田政権が目論む戦争のできる国づくり反対を訴えます。

**日本政府がやるべきことは軍拡ではない！  
停戦に向けた外交だ！**